

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0367	救急医療事業					01	04	01	01	242	51
	事業名	02	身近なところで高度な医療を提供する	所属	131000	健康福祉部地域医療対策課	連絡先(記入者) 城北 博章 22 - 9705					

概要	事業概要	市内2病院と名張市立病院の3病院で時間外の二次救急医療体制を維持し、伊賀地域における二次救急医療体制を確保する。						事業期間								
								平成	20	年度	～	平成	年度			
	根拠法令・要綱等	厚生労働省「救急医療対策事業実施要綱」				審議会・委員会等										
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号				1				
	対象(誰を、何を)	二次救急医療を必要とする市民				※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値
成果(どうする)	伊賀地域内における2次救急医療体制の確立															
H24実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀地域の2次救急実施3病院の院長・事務長及び伊賀市・名張市の健康福祉部長による会議を定期的に行い、二次救急医療体制の調整・確立を行った。 救急医療や応急処置等に関する相談に24時間対応する「救急相談ダイヤル24」事業を実施した。 上野総合市民病院の再生に向けて、市民病院にて毎朝開催される定例会に参加し、情報共有に努め、随時協議を実施した。 															

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	二次救急実施日による救急受入数	人数	目標 7,000.0 実績 6,888.0	目標 7,000.0 実績 8,069.0	7,000.0		7,000.0	
成果指標	二次救急実施日における救急からの入院数	人数	目標 1,700.0 実績 1,569.0	目標 1,700.0 実績 1,914.0					

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率 0.7%)	2,225	2,222	2,478	2,478	2,478	2,478	2,478	小児救急医療支援事業補助金	
	地方債									
	その他	24,591	25,478	25,800				25,800	分担金(名張市から)	
	合計(A)	26,816	27,700	28,278	2,478	2,478	2,478	28,278	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	電話医療相談サービス委託料	7,249	7,249	7,308	7,308	7,308	7,308	7,308		
	一次救急医療体制運営事業委託料	3,976	3,976	3,976	3,976	3,976	3,976	3,976		
	歯科休日診療体制運営事業委託料	630	630	630	630	630	630	630		
	二次救急医療負担金	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000		
	三重県救急医療システム運営費負担金	817	1,000	985	985	985	985	985		
	病院郡輪番制運営費負担金	30,744	30,555	30,618	16,663	16,663	16,663	30,618		
	病院郡輪番制維持確保対策負担金	23,625	25,515	25,988	14,143	14,143	14,143	25,988		
	一次救急医療体制運営費負担金	319	319	369	369	369	369	369		
	その他事務経費	2,266	1,970	821	821	821	821	821		
		小計(B)	83,626	85,214	84,695	58,895	58,895	58,895	84,695	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人		
		人件費	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
		人件費								
	小計(C)	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777		
	合計(D=(B+C))	89,308	90,991	90,472	64,672	64,672	64,672	90,472	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	62,492	63,291	62,194	62,194	62,194	62,194	62,194		
	(うち繰越金) ※前年度比	—	799	△ 1,097	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
救急医療体制の確立を図ることが困難となる。		(概ね) 順調	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争) <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金 <input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> ※委託内容及び委託先の存在 伊賀市救急相談ダイヤル24事業 T-PEC株
昨年度記載した改善策	二次救急医療体制の確保に向けて、関係機関との協議を進める。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 伊賀地区の2次救急実施3病院の院長・事務長及び伊賀市・名張市の健康福祉部長による会議を定期的に行い、二次救急医療体制の確立を行った。
現時点における課題及び課題に対する改善策	継続可能な二次救急医療体制を確保するため、上野総合市民病院をはじめとする3病院での医師確保が重要である。また、二次救急担当病院への搬送者のうち半数以上が軽症者であり、二次救急病院の負担増となっている。伊賀市救急相談ダイヤル24事業の市民へ周知や関係機関との協議を進め、一次・二次医療の役割分担に努める。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	田中 佳隆	拡大・充実	継続可能な二次救急体制を確保するため、限られた医療資源を有効に活用し、医療機関相互のより一層の連携が必要である。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0368	応急診療所管理運営事業					01	04	01	01	242	52
	事業名	0368	応急診療所管理運営事業	所属	131000	健康福祉部地域医療対策課	連絡先(記入者) 城北 博章 22 - 9705					
基本施策	02	身近なところで高度な医療を提供する										

概要	事業概要	伊賀医師会・岡波総合病院・上野総合市民病院等の医師の協力を得て、休日及び夜間の急病者に対する診療事業						事業期間						
								平成	18	年度	～	平成	年度	
	根拠法令・要綱等	伊賀市応急診療所の設置及び管理に関する条例				審議会・委員会等	伊賀市応急診療所運営検討会							
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	2					
	対象(誰を、何を)	市民				※対象件数	人	H23実績	8,281	H24実績	8,394	H25見込	8,300	H26目標値
成果(どうする)	休日・夜間において、症状に応じて応急的な診療が受けられる。													
H24実施内容	伊賀医師会・岡波総合病院・上野総合市民病院等の医師の協力を得て応急診療所を通年運営 運営時間【月曜日～土曜日】午後8時～午後11時【日曜日・祝日】午前9時～正午、午後2時～午後5時、午後8時～午後11時													

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
			H23		H24		H25	H26		
	活動指標	応急診療所開設時間	時間	目標	1,524.0	目標	1,527.0	1,527.0	1,533.0	
				実績	1,515.0	実績	1,515.0			
成果指標	受診者数	人	目標	7,800.0	目標	7,800.0	7,800.0	7,800.0		
			実績	8,281.0	実績	8,394.0				

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他	66,790	65,000	63,437	63,437	63,437	63,437	63,437	診療に係る収入	
	合計(A)	66,790	65,000	63,437	63,437	63,437	63,437	63,437	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	応急診療所嘱託医師報酬	44,266	43,814	44,957	44,957	44,957	44,957	44,957		
	応急診療所嘱託看護師報酬	8,186	8,145	8,325	8,325	8,325	8,325	8,325		
	医薬材料費	1,321	1,417	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440		
	応急診療所医事業務委託料	9,916	9,979	9,992	9,992	9,992	9,992	9,992		
	応急診療所調剤業務委託料	9,874	9,712	9,541	9,541	9,541	9,541	9,541		
	土地建物借上料	1,620	1,620	1,620	1,620	1,620	1,620	1,620		
	その他事務経費	2,295	2,214	2,988	2,988	2,988	2,988	2,988		
	小計(B)	77,478	76,901	78,863	78,863	78,863	78,863	78,863		特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	正規職員	人数	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人		1.0人
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		人
人件費	人件費	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777		
小計(C)	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777			
合計(D=(B+C))	83,160	82,678	84,640	84,640	84,640	84,640	84,640	84,640	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	16,370	17,678	21,203	21,203	21,203	21,203	21,203		
	※前年度比	—	1,308	3,525	0	0	0	0		
対象者あたり一般財源充当額										

必要性	7. 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
一次救急医療・二次救急医療の棲み分けを図ることが困難となり、二次急医療実施病院の疲弊につながる。	(概ね)順調		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	<input type="radio"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	伊賀市応急診療所医事業務委託(株)ソラスト
昨年度記載した改善策	応急診療所を含めた救急の適正利用を図るため、市広報等で定期的に市民周知を行う。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 市広報にて、年4回応急診だよりを掲載している。
現時点における課題及び課題に対する改善策	応急診療所は、応急的な処置を目的とする一次救急であるにもかかわらず、コンビニに受診的に利用される受診者が見受けられるので、市広報の掲載内容の見直しが必要である。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	田中 佳隆	現状維持	かかりつけ医を含む一次救急、二次救急の棲み分けは地域医療体制を確保する中で重要であり、応急診療所の担う役割は大きい。